



～回復期リハビリ病棟（南2階）クリスマス会～



今年も恒例のクリスマス会が12月14日に回復期リハビリ病棟（南2階）で開催されました。

今年で3回目となるクリスマス会では、病棟スタッフからの催し物としてハンドベルや歌などが披露されました。また、普段は、患者さんやご家族へ退院支援などを行っている地域医療連携室の職員も初めて加わり、バイオリン演奏を披露し会場はクリスマスの雰囲気になりました。

患者さんには、サンタクロースやトナカイに模した職員からプレゼントが手渡され、おやつにはリハビリスタッフと患者さんが調理訓練を兼ねて作ったプリンが配られました。

今年は例年にないほど多くのご家族や他病棟の患者さんも参加され、大いに盛りあがったクリスマス会となりました。

ご協力・ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。





～地域医療連携室 から～

今回は、11月22日から26日にかけて開催された研修会に参加して学んだこととお話しさせていただきます。

研修会は、医療ソーシャルワーカーとしての基礎的な知識、技術を習得することを目的とし、講義中、講師が特に強調されていたことは、『医療ソーシャルワーカーの価値・倫理観を大切にしてください』『声なき声に耳を傾けてください』ということでした。

今私たち人間はひとそれぞれ価値観を持っていて、同じものを見ても聞いても、見え方や聞こえ方はひとそれぞれ違うため、医療ソーシャルワーカーが個人的な価値観でお話を伺うことは患者さんやご家族にご迷惑をおかけしてしまうことにつながります。

今回の研修で学んだ、倫理綱領を活かしながら、患者さんやご家族の声や希望を聴き、感じとりたいと思います。その上で、地域の関係機関・事業所と連携を図ってまいりたいと思います。



医療ソーシャルワーカー 春山

～訪問看護ステーションふかや から～



12月現在の当事業所の利用者数は147名で、月の延べ訪問件数は700件ほどとなっており、訪問エリアは石巻市や東松島市などの一部地域となっております。

近年、入院期間の短縮や施設入所も困難な状況であるため、在宅療養をされる方が増加しております。特に、独居や二人暮らしの高齢者が目立ってきており、中には、認知症の方も多くおられます。また、癌末期の方や中心静脈栄養など医療依存度の高い患者さんも増加し、ご家族の介護負担も大きくなっております。

訪問看護に関しては、「寝たきりの方」「何か医療処置が必要な方」が利用するものと思われがちですが、独居の方の体調・服薬管理、寝たきり予防、脳血管疾患再発予防、糖尿病合併症予防、食事・生活指導など予防的な側面も担っております。

こうした高齢者世帯が増える中、訪問看護師は、その場に応じた適切な判断や看護技術が必要とされます。

当事業所では、ケアマネジャーや他の事業所との連携を密にし、看護の視点で何が必要かを見極め、サービスを適切に届け、安心して利用いただける事業所を目指し、さらに、質の向上に日々努力を重ねております。

ご家族とともにサポートし寄り添えるようお手伝いをしてまいります。

